



(題字 時澤 貢 学長)

第395号  
(平成9年11月号)



▲ 教育学部附属中学校「創立50周年記念式典」で式辞を述べる中村附属中学校長  
(平成9年11月3日(月): 富山市芸術文化ホール)

## 目 次

関係法令 .....	3	職員消息	
諸会議 .....	3	◆ 住所変更 .....	15
人事異動.....	4	主要行事 .....	16
学内諸報			
◆ 叙勲 .....	4		
◆ 附属幼稚園杉谷副園長が平成9年度教育者 表彰を受章 .....	6		
◆ 教職員文化展を開催 .....	6		
◆ 「富山大学リカレント学習コース」を開設 .....	7		
◆ 「経営者・研究者交流会」を開催 .....	8		
◆ 「富山大学における大学開放の在り方を考 えるフォーラム」を開催 .....	10		
◆ 「出張公開講座」を開催 .....	10		
◆ 附属小学校“創校120周年記念式典”及び 附属中学校“創立50周年記念式典”を挙行.....	11		
◆ 富山県地区国立学校等中堅職員研修を実施.....	13		
◆ 学内レクリエーション（バドミントン大会、 卓球大会、ボウリング大会）を実施 .....	14		
◆ 海外渡航者 .....	15		



▲ 晩秋のメインストリート

## 関 係 法 令

### (省 令)

- 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則（文部40）  
（平9. 11. 26 官報第2270号）

### (規 則)

- 人事院規則9-40（期末手当及び勤勉手当）の一部を改正する人事院規則（人事院9-40-13）  
（平9. 11. 25 官報第2269号）

### (告 示)

- 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則に掲げる施設に準ずる施設を指定する件（文部187）  
（平9. 11. 26 官報第2270号）

## 諸 会 議

### 第2回就職連絡会議（11月4日）

#### (議 題)

- (1) 企業向け大学紹介の編集について
- (2) 平成10年度全学就職説明会実施計画について
- (3) その他

### 第2回保健管理センター運営委員会（11月13日）

#### (議 題)

- (1) 平成10年4～6月保健管理センター業務計画（案）について
- (2) その他

### 第3回授業料等減免選考委員会（11月14日）

#### (議 題)

- (1) 平成9年度後期分授業料免除者の選考について
- (2) その他

### 第5回学生生活協議会（11月14日）

#### (審議事項)

- (1) 平成10年度入学合格者へのダイレクトメール送付にかかる学生団体からの要求について
- (2) 第43回（平成10年度）大学祭について
- (3) その他

### 第7回部局長懇談会（11月21日）

#### (議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

### 第10回評議会（11月21日）

### 第6回事務協議会（11月25日）

#### (議 題)

当面の諸課題について

### 第3回入学試験実施委員会（11月25日）

#### (審議事項)

- (1) 平成10年度入学試験判定資料の様式について
- (2) 平成10年度富山大学特別選抜実施要項（案）について
- (3) 平成10年度大学入試センター試験富山大学試験場の実施体制について
- (4) 平成10年度富山大学入学試験業務予定について

### 第105回構内交通対策委員会（11月27日）

#### (議 題)

- (1) 交通指導員等による交通安全一斉指導及び無許可車両・駐停車違反車両の一斉取締りの結果について
- (2) 冬期積雪時における交通規制について
- (3) 段差の設置について
- (4) その他

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	9. 12. 1	丹羽 弘一	講 師 (人文学部)	助教授 (人文学部)
辞 職	9. 11. 30	埴野 謙二	講 師 (教育学部)	辞 職
退 職	9. 12. 1	竹井 公子	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成9年11月30日限り退職
育児休業	9. 11. 29	烏海衣美子	文部事務官 (経済学部)	職務復帰

# 学 内 諸 報

## 叙 勲

去る11月3日付けで、平成9年秋の叙勲が発表され、本学関係では次の方々を受章されました。

### 名誉教授 中川正之 勲二等瑞宝章



叙勲を受け、今改めて多くの方々から頂いた御指導やお力添えに対して、感謝の気持ちを新たにしています。

子供のころ“僕は軍人大好きよ、いまに大きくなったなら、勲章つけて剣下げて、お馬に乗って、ハイロード”という歌を歌い、また、東郷元帥が沢山の勲章を胸にした写真をよく覚えています。軍国主義華やかな時代の軍人礼賛のもので、軍人になる気のない私には、勲章は軍人か政治家等の全く別世界のものでした。しかし、ごく近い先輩や友人達に続いて、遂に自分の番が回って来た時、身に余る光栄と思う一方で心中色々の思いが過ぎました。

三月に第二の人生をリタイアしたこの高齢者に叙勲を重ねて考えると、“これで人生の終局ですぞ”と言われた様な気持ちになる一方で、身辺整理は一向に進まず、また、研究者として教育者として思い残す事も多くあります。その内に地獄の閻魔様に呼び出され、お前は娑婆で何をしてきたかと問われた時、“大学の先生でした。”と答えて認めて貰えるか、大いに疑わしいものがあります。人生の終局に当たって、今更慚愧に絶えずと言っても手遅れはどうしようもない事があります。

**名誉教授 児島 毅 勲三等旭日中綬章**

この度、勲三等旭日中綬章拝受の栄に浴し、誠に身に余る光栄と存じます。思えば、終戦の翌年旧制富山高校に奉職し、昭和24年大学発足とともに、その木造校舎の中に研究室を設け、手造りの装置で研究を始めました。以来、停年まで37年間、特色あるマイクロ波分光学の研究室として、世界的にも認められてきました。これは偏に研究室所属の方々の努力と関係の皆様方のご協力によるものにほかなりません。また、実験設備の充実、物品の調達などでは、職員の方々にも大層お世話になりました。ここに、厚くお礼申し上げます。

なお、私の後任として本学に5年間ご在職になりました赤羽賢司先生（東大名誉教授）は今回の叙勲で勲二等瑞宝章を受章されました。先生は電波天文学の権威で、しかも、物理学全般にわたってのご造詣も深く、本学のためにご尽力下さいました。ここに先生への祝賀と感謝の意を表します。

終わりに、本学の益々のご発展を祈念いたします。

**元文部事務官 大場文子 勲七等瑞宝章**

大学の窓口業務の一端を携わったことで大変重い章をいただき、身に余る光栄と感謝しております。私ひとりの力でなく、みな上司、同僚の方々の御指導と御加護があればこそ、感無量でございます。

富山電話局電話交換手から昭和27年富山大学文理学部に着任。本部事務局へと33年間にわたって勤務し電話交換業務に終始、その間大学キャンパスの整備拡充、電話も自動交換機から電子交換機へと変わり、退職時には800回線を取扱い、膨大なPBXでした。

40年代の大学紛争で交換室を懸命に守ったこと、今も心繋る思い。

全学部封鎖のけはひ迫る今日

職員腕章われら渡さる

この緊迫感が忘れられない思い出です。

受章に御尽力下さいました大学事務局に御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 附属幼稚園杉谷副園長が教育者表彰を受章

教育学部附属幼稚園杉谷利枝子教頭（副園長）が、学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを文部大臣が表彰する平成9年度教育者表彰を受章されました。

なお、表彰式は平成9年12月1日(月)に国立劇場小劇場で行われました。



杉谷副園長は、附属幼稚園教諭となって30年5月、特に、教頭（副園長）となって10年6月の永きにわたり、生涯にわたる人間的発達の基礎を守り育てるという教育方針をもって、情操豊かな幼児の育成に努められるとともに、保護者に対しても、

P T A 活動等を通して、幼児の調和のとれた成長に与える家庭教育の重要性と責任について指導されてこられたほか、学部学生の教育実習等の指導には中心となって当たるなど幼児教育についての知識と実践力を身につけた教員養成にも尽力してされました。

また、幼稚園経営に関する研究及び幼稚園教育の充実・発展を目的として設立された富山県国公立幼稚園長会及び富山県国公立幼稚園教育研究会の総務担当幹事として

同会の運営と県内国公立幼稚園間の連絡調整に当たってこれられるとともに、富山県幼稚園教育研究大会の実行委員会総務担当として同大会の企画、実施等に関して、実質的な責任者としての役割を務めてられました。

この他、富山県家庭教育総合推進事業家庭教育企画推進委員、新富山県民総合計画課題研究会心豊かな人材育成研究会委員等を歴任するなど幼児教育に携わる学識経験者として21世紀に向けての富山県づくりにも貢献されています。

以上のように、同氏は本学教育学部附属幼稚園のみならず富山県内の公私立幼稚園の組織の充実発展に大きく寄与されるとともに、公私立幼稚園教諭の幼児教育研究及び実践に関する指導者として、富山県内における幼児（幼稚園）教育の振興と教員の資質向上に果たされた御功績は高く評価されています。

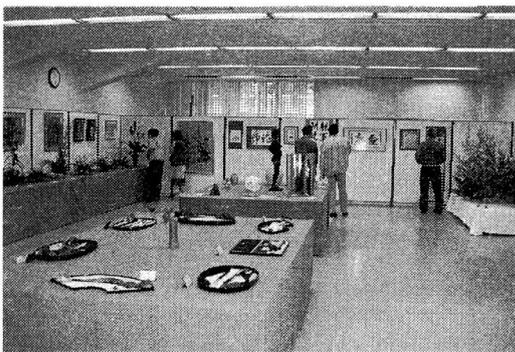
## ≧平成9年度教職員文化展を開催≦

— 力作147点を展示 —

本学レクリエーション委員会文化部会、文部省共済組合富山大学支部の共催により平成9年度教職員文化展が、去る11月4日(木)から6日(金)までの3日間にわたり黒田講堂会議室で開催されました。

本学教職員及び家族から出品された華道2点、手芸70

点、書道7点、絵画18点、盆栽37点、盆景6点、写真7点の計147点が会場一杯に展示され、年々腕に磨きのかかる出品者の多彩な趣味・特技に訪れた多くの教職員が目を見張り、力作に感嘆の声を上げていました。



▲ 会場に展示された作品を熱心に見る教職員 ▲

## 富山県リカレント教育推進事業

## － 富山大学リカレント学習コースを開設 －

リカレント教育とは、すでに学校教育を終え社会で活躍されている社会人・職業人が、最新の知識や高度な技術の習得を求め、旺盛な学習意欲に燃えて、再び教育の場に戻って学習されることをいいます。

富山県では、平成4年から全国に先駆けて「リカレント教育推進協議会」を設置し、県内の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、試験研究機関などが主体となり、働く県民のニーズに応じて、「リカレント学習コース」を毎年開設しています。

富山大学でも、この富山県リカレント教育推進協議会から委託を受け、平成4年度から実施しており、今年度は理学部数学科の協力を得て、「コンピュータでみる数学の世界」の学習コースを開設しました。

この学習コースは、主に中学校及び高等学校の教員を対象に、理学部第11講義室及び同コンピュータ実習室を会場とし、去る10月28日から11月28日までの毎週火・金曜日（18時～21時）の計10回にわたり開催しました。

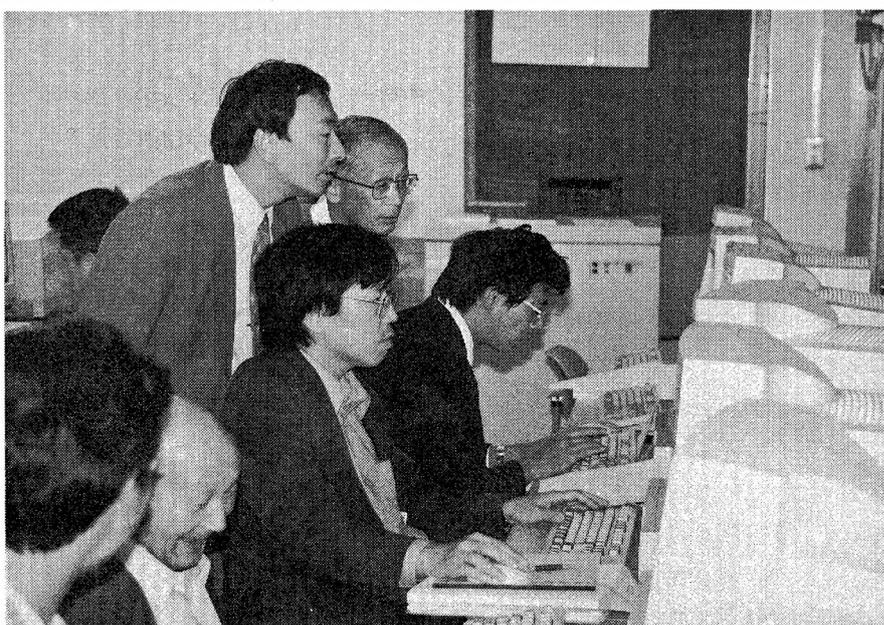
受講者（19人）のほとんどが、30代、40代の現職教員であり、また夜間にもかかわらず、福光町や氷見市など遠方から来られた方もおり、大多数の受講者はコンピュータ、特に数式処理ソフトのマセマティカ（これは富山大学がキャンパスライセンスを取得しています。）を利用した講義に関心を持っている状況でした。

学習コースは、毎回前半が数学理論の講義を行い、後半ではマセマティカでその内容を目で見てよく理解するための実習を行いました。

受講者の感想としては、「数式のみでは味気なく感じる数学も、コンピュータグラフィックスによって、視覚イメージでとらえることができたことが良かった。」「学生に戻った気分で『教える立場』に慣れてしまっている自分にとって良い機会となった。」など好評で再度開設してほしいとの要望もありました。

なお、学習コースの内容及び講師は次のとおりです。

回	講義・実習テーマ	講師
第1・2回	カオスとフラクタルをみる	理学部教授 鈴木 正昭
第3・4回	グレブナー基底と連立一次方程式	理学部教授 菅谷 孝 理学部助手 幸山 直人
第5・6回	曲線と曲面に挑戦	理学部教授 渡邊 義之 理学部助手 古田 高士
第7・8回	微分方程式の内部探検	理学部教授 吉田 範夫 理学部助手 幸山 直人
第9・10回	確率論とシミュレーション	理学部教授 小林久壽雄



▲ 講師の指導でコンピュータ実習を受ける受講生

## 産学官の共同研究のための『経営者・研究者交流会』を開催

地域共同研究センターでは、去る11月26日(木)に「第11回(平成9年度)経営者・研究者交流会」を開催しました。今回は、“効率とロマンの追求”をテーマとして文部省をはじめ県内の高等教育機関、公設試験研究機関の研究者及び民間企業の経営者・研究者など220人が一堂に会しました。

池野センター長の挨拶、文部省学術国際局研究助成課宮脇科学研究費助成企画室長の来賓挨拶の後、トップ講演会で杉野博氏(株)スギノマシン代表取締役会長)が「有限の人生、有限の資源」と題して、自らの経営哲学や経営手法について講演があり、続いて4分科会に分かれて、お互いの研究成果の紹介や情報交換などが行われました。次いで、「ロマンと活気あふれる大学となるために」をテーマとした産学官懇談会、最後に懇親会があ

り盛会のうちに終了しました。

なお、今年度の交流会プログラムは次のとおりです。



▲ 挨拶をする宮脇科学研究費助成企画室長

### 経営者・研究者交流会プログラム

#### □ 開 会 (13:00~13:05)

[開会挨拶] 富山大学地域共同研究センター長

池野 進

[来賓挨拶] 文部省学術国際局研究助成課科学研究費助成企画室長

宮脇 和男

#### □ トップ講演会 (13:05~14:30)

[演 題] 「有限の人生、有限の資源」

[講 師] 株式会社スギノマシン代表取締役会長

杉野 博

#### □ 分 科 会 (14:40~17:40)

##### 1 電子デバイス・情報処理

###### ◆ 高度情報社会の技術の応用と展開

倉田機械設計事務所代表

倉田 勇雄

###### ◆ 透す媒体としてのガラス

富山ガラス造形研究所助教授・富山ガラス工房技術部長

野田 雄一

###### ◆ 地ビールで活性化

宇奈月ビール株式会社総務部長

福澤 肇

##### 2 メカトロ・加工技術

###### ◆ ファスナー部品の自動組立技術

Y K K 株式会社工機事業本部

ファスニング機械技術センター機械開発室長

古幡 杉夫

###### ◆ NC キルティング装置の開発

富山県工業技術センター生活工学研究所副主幹研究員

佐藤 一男

###### ◆ オープンNCの特徴と応用

株式会社日平トヤマ技術本部 F A 推進室次長

菊池 賢次

◆人の主観・感性を活かした決定とその支援  
富山大学教授（経済学部） 中島 信之

◆画像処理技術の寸法計測への応用  
株式会社不二越技術開発部電子技術部部长 安本 雅昭

### 3 新 素 材

◆モリブデン材料の組織制御と強靱化  
東京タングステン株式会社取締役研究開発部長 五十嵐 廉

◆抗菌性アルミニウム建材  
三協アルミニウム工業株式会社技術室技術課課長 松原 静治

◆FRP製ボルト・ナットの開発に取り組んで  
太平株式会社商品開発グループリーダー 岡本 正

◆熱特性評価システム用湿度センサの開発  
富山大学助教授（工学部） 寺山 清志

◆パルス通電加圧焼結法によるアルミニウム合金粉末の固化成形  
富山県工業技術センター中央研究所研究員 長柄 毅一

### 4 バイオサイエンス ——パネルディスカッション——

[テーマ]「ゲノム解析とDNA産業の展望」

[コーディネーター] 富山医科薬科大学教授（和漢薬研究所） 濟木 育夫

[パネラー]

◆微生物ゲノムの全塩基配列解読の実用性  
富山大学教授（理学部） 山田 恭司

◆ヒトゲノム解析研究の現状と展望  
富山大学助教授（工学部） 磯部 正治

◆肝癌の免疫：遺伝子治療をめざして  
富山医科薬科大学講師（附属病院輸血部） 樋口 清博

### □ 産学官懇談会（クローズ）（14：40～17：40）

[テーマ]「ロマンと活気あふれる大学となるために」

[出席者] 文部省学術国際局研究助成課科学研究費助成企画室長 宮嶌 和男

富山県工業技術センター所長 佐藤 泰一

富山県機械工業会副会長（コーセル株式会社代表取締役社長） 飴 久晴

YKK株式会社取締役副社長（客員教授） 北野 芳則

地域共同研究センター交流振興会会長

（株式会社スギノマシン代表取締役会長） 杉野 博

日本高周波鋼業株式会社常務取締役富山製造所長 高石 一英

北陸電力株式会社地域総合研究所長（客員教授） 長坂 秀雄

富山大学工学部同窓会会長

（三協アルミニウム工業株式会社代表取締役専務） 松谷 武男

富山県電子電機工業会会長

（立山科学工業株式会社代表取締役社長） 水口昭一郎

富山大学長 時澤 貢

富山大学工学部長 宮下 尚

富山大学地域共同研究センター長 池野 進

### □ 懇 親 会（18：00～19：30）

## 「富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム」

生涯学習教育研究センターでは、富山大学における大学開放の今後の在り方を考えるため、生涯学習に関わる県内有識者及び諸団体の代表者を招き、「富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム」を、去る11月25日(火)に黒田講堂会議室で開催しました。

フォーラムには、県・市教育委員会、県民カレッジ、生涯学習団体、企業、婦人会、公開講座受講者、高等学校長、中学校長、報道機関及び高等教育機関などの代表者や本学関係者など約60人が出席しました。

時澤学長から「地域に貢献できる事業を全学を挙げて推進していきたい。」との挨拶に続き、八木近直氏（富山県立近代美術館長）の「生涯学習社会と大学開放につ

いて」と題した講演があり、その中で聴講生の受入れの充実、インターネットの利用や放送大学との連携を図る必要性等について提言がありました。

次いで、大学開放を推進するための協議会では、米田センター長から、大学が富山県における生涯学習社会づくりにどのような貢献が出来るか、各界からの御意見をいただきたい旨の挨拶があり、出席者から生涯学習のネットワーク化の推進、地域のニーズに合った公開講座とそのPRの工夫、また県内大学間等の単位互換の推進、大学教員の情報公開と地域社会への積極的な参加などの意見が出され、大学にとって大変有意義なフォーラムとなりました。



▲ 講演をする八木富山県近代美術館長



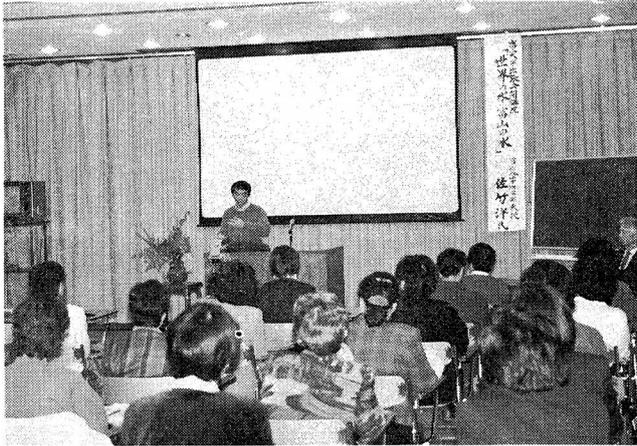
▲ 活発な意見交換が行われた協議会

## ——「出張公開講座」を開催——

生涯学習教育研究センターでは、大学開放を目的として大学の持つ知的・人的資源を市民に提供し、また学習機会が少ない地域のニーズに応ずるため、富山県民カレッジを通じて、県内市町村教育委員会等から要請を受け、本学教官が出張（出前）して講義等を行う「出張公開講座」を平成7年度から実施しています。

今回は、城端町教育委員会から城端町在住の婦人（レディースカレッジ生）を対象に「地域社会と環境問題」をテーマとした講義の依頼があり、本年度理学部実施の公開講座「富山発宇宙船地球号」の中から「世界の水・富山の水」の講座を実施することになりました。

講座は、去る11月14日(金)19時から城端町中央公民館において開催し、大石副センター長の挨拶に続き、理学部佐竹洋教授が約40人の受講生にOHPを用いてユーモアあふれる講義を行い、受講生は終始熱心に聞き入っていました。



▲ 講義をする佐竹理学部教授



▲ 熱心に聞き入る受講生

## 附属小学校“創校120周年記念式典”を挙行

教育学部附属小学校「創校120周年」記念式典を、去る11月20日(木)に富山県民会館大ホールにおいて、時澤学長はじめ来賓、保護者、児童及び教職員など約1,100人が出席して盛大に挙行了しました。

松井校長が式辞で「国際化、高齢化社会の到来する21世紀に生きる子供として、自分たちは何をしなければならないのかを考えよう。」と子供たちに語りかけ、続いて時澤学長、新田同窓会長から祝辞があり、時澤学長は、「教育改革の時代にあって、家庭、学校、地域社会が一体となって、次代を担う子供の育成に務めよう。」と呼び掛けられました。

その後、120周年を記念して新調された校旗が披露され、新田同窓会長から松井校長へ、そして6年生の翠田圭吾君へと手渡されました。これは、同窓会の創校120周年記念事業実行委員会が推進している記念事業の一環として寄贈されたもので、附属小学校の校旗としては、明治42年師範学校時代に校旗を樹立して以来3本目となります。

最後に、6年生の渡辺隼太君が「社会に役立ち、皆様の期待にこたえられる人間として成長したい。」と謝辞を述べ、出席者全員で校歌を大合唱して式典を閉じました。

その後、ステージでは「附属小学校120年の歩み」の発表があり、児童と教官が一体となった劇に会場からどよめきや笑いが起き、大きな拍手が送られました。

引き続き、第20回創校記念音楽会が行われ、ブラスバンド部の演奏と各学級の合唱があり、中村義朗教育学部教授から「創校120周年、第20回の音楽会にふさわしい、例年を上回るすばらしい演奏」との講評がありました。

この日は、ロビーでも「創校120年の歩み展」が開かれ、展示された写真パネル、旧校旗などが人目をひき、特に、古いアルバムや文集コーナーには、「私の小学校時代のものがあり、なつかしい。」という保護者や旧教職員などが足を止めていました。



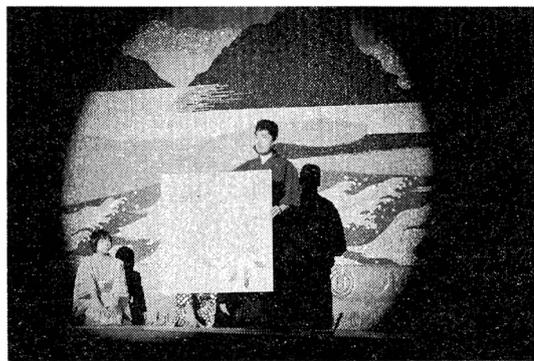
▲ 記念式典で挨拶をする時澤学長、右上は式辞を述べる松井校長



▲ 新校旗を受け取った翠田君と謝辞を述べる渡辺君



▲ 「創校120年の歩み展」を見る児童



▲ 「附属小学校120年の歩み」の劇を熱演する児童と曲師教諭

## 附属中学校“創立50周年記念式典”を挙行

### — 移りつつ変わらざるまことあれ —

教育学部附属中学校では、昭和22年4月義務教育6・3制の発足により富山師範学校附属中学校として創設されてから今年で「50周年」を迎え、記念式典を去る11月3日(月)に富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で挙行了しました。

式典には、時澤学長はじめ来賓、同窓生、保護者、生徒並びに教職員が出席し、中村校長が「輝かしい伝統を受け継いで、羽ばたいてほしい」と式辞を述べ、楠頭秀県教育委員会委員長、時澤学長から祝辞がありました。これに対して生徒を代表して、生徒会長の島崎一也君が「校訓を指針によりよく成長したい」と喜びのことばを述べました。

式典終了後、生徒会が制作した「映像と語り」により、旧連隊の馬小屋跡を校舎として開校した当時の50年を振り返り、「Tomorrow」の全体合唱で飛躍を期しました。

その後、同窓生で元東京大学地震研究所教授の溝上恵先生から「私の歩いた道—地震のなぞを追う」と題した記念講演を聴いて日程を終了しました。



▲ 記念式典で祝辞を述べる楠委員長

## 第9回（平成9年度）富山県地区国立学校等中堅職員研修を実施

第9回（平成9年度）富山県地区国立学校等中堅職員研修を、本学が世話機関となり、去る11月5日(木)から7日(金)までの3日間にあたり、本学事務局大会議室並びに国立立山少年自然の家において実施しました。

本研修は、中堅職員の職務の遂行に必要な基礎的知識、技術、態度及び広範な行政的視野並びに社会的見識を付与することにより、各機関の中核となるべき職員の養成を図ることを目的としたもので、富山県内6機関（富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学、富山工業高等専門学校、富山商船高等専門学校、国立立山少年自然の家）合同の研修で、25人（うち女子職員6人）が受講しました。

研修は、講義と班別討議を中心に行われ、和気あいあいの中にも熱のこもった研修となりました。

なお、研修日程及び受講者は次のとおりです。



▲ 受講者全員で記念撮影

### 受講者名簿

機関名	所属・職名	氏名
富山医科薬科大学	総務部庶務課職員係職員第二主任	富田さとみ
〃	業務部施設課企画係企画第二主任	大森 秀子
〃	総務部経理課出納係出納第二主任	山本 雅子
〃	総務部庶務課職員係看護部事務主任	中島 潤子
〃	業務部医事課総務係総務主任	水木和賀子
〃	教務部入学主幹付入学試験係入学試験主任	松下 博之
〃	教務部図書課情報企画係	脇坂 勝人
高岡短期大学	庶務課庶務係庶務主任	武田 正夫
富山工業高等専門学校	会計課用度係契約主任	山田 勇一
〃	学生課教務係教務第二主任	浅岡 郁子
〃	会計課施設係施設主任	片原 義和
富山商船高等専門学校	学生課学生係学生主任	山上 康彦
〃	会計課総務係総務主任	田村 修一
国立立山少年自然の家	庶務課庶務係庶務主任	牧田 秀晴
富山大学	庶務部庶務課学事調査係学事調査主任	近藤 達也
〃	庶務部庶務課庶務係庶務第二主任	山田 洋一
〃	庶務部人事課給与係給与第一主任	松田 晃
〃	施設課電気係電気第一主任	森田 昌夫
〃	施設課企画係企画主任	村道 俊一
〃	人文学部・理学部用度係用度主任	藤田 一吉
〃	経済学部庶務係人事主任	高木 晃
〃	経済学部教務係教務第一主任	光澤 和嗣
〃	工学部庶務係人事主任	石塚 久博
〃	工学部経理係経理主任	松田 義弘
〃	工学部用度係用度主任	澤崎 勝彦

### 第9回（平成9年度）富山県地区国立学校等中堅職員研修日程表

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
11月5日(木)	オリエンテーション	開講式	「講話」 富山大学事務局長 潮地洋男	「講義」 〈子供の心の成長を支える家庭教育〉 富山大学教育学部助教授 神川 康子	昼食・休憩	(班別討議) フリートーキング				研修ビデオ							
11月6日(木)	「講義」 〈南極で旅行するとき〉 富山大学教育学部教授 宇井啓高		(移動) 国立立山少年自然の家へ		昼食・休憩	見学 富山県「立山博物館」				(班別討議) 事例研究Ⅰ		入浴等	懇親会	宿泊			
11月7日(金)	「講義」 〈服務規律〉 富山大学人事課長 青木正克		(班別討議) 事例研究Ⅱ		昼食・休憩	(班別討議) 事例研究まとめ	全体討議 (各班発表)		(移動) 富山大学へ		アンケート	閉講式					

# 学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

## 〈バドミントン大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会バドミントン班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成9年度学内バドミントン大会を、去る11月8日(土)に本学第1体育館で実施しました。

大会は約45人が参加して、部局(課)対抗6チームによる熱戦が繰りひろげられ、経理部の2連覇で幕を閉じました。

なお、成績は次のとおりです。

優 勝	経理部チーム
準優勝	人文学部・教育学部・理学部合同チーム
3 位	工学部チーム

## 〈卓 球 大 会〉

本学レクリエーション委員会体育部会卓球班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成9年度学内卓球大会を、去る11月21日(金)に本学第2体育館で実施し、7チームによる部局対抗の熱戦が繰りひろげられました。

なお、成績は次のとおりです。

優 勝	本部Aチーム
準優勝	人文学部・理学部チーム
3 位	教育学部チーム

## 〈ボウリング大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会ボウリング班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成9年度学内ボウリング大会を、去る11月27日(木)トヤマゴールデンボウルで実施し、4人一組で21チームが参加し熱戦が繰りひろげられました。

なお、成績は次のとおりです。

### (団 体)

優 勝	人事課チーム	1,158点
準優勝	図書館Cチーム	1,108点
3 位	経理部Cチーム	1,096点

### (男子個人)

1 位	戸川成弘(経済学部)	324点
2 位	関川国彦(人事課)	314点
3 位	小林 司(人文学部・理学部)	313点

### (女子個人)

1 位	長崎宏美(人事課)	274点
2 位	串田小百合(附属図書館)	267点
3 位	井澤真由美(工学部)	251点

### (ハイゲーム賞)

(男子)	吉野義光(施設課)	190点
(女子)	高瀬久美子(教育学部)	157点

# (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	経済学部	教授	中藤康俊	大韓民国	「環日本海地域の開発と環境」に関する資料収集	9.11.3 ) 9.11.8
	総合情報処理センター	助教授	高井正三	アメリカ合衆国	マルチメディア・データベース・システムの構築と活用技術の研究	9.11.3 ) 9.11.20
	工学部	教授	坂井純一	イタリン	プラズマ物理のトピックスに関する国際会議に出席、研究発表、共同研究、研究討論	9.11.8 ) 9.11.24
	経済学部	教授	飯田剛史	大韓民国	在日コリアンの社会的ネットワークと文化動態に関する調査、資料収集、研究打合せ	9.11.13 ) 9.11.18
	〃	助教授	酒井富夫	中華人民共和国	「環日本海地域における開発と環境」に関する現地調査	9.11.16 ) 9.11.23
	〃	助教授	木幡伸二	〃	〃	〃
	工学部	講師	堀田裕弘	アメリカ合衆国	カラー画像国際会議、国際照明委員会色彩標準化シンポジウムに出席、研究打合せ、調査研究	9.11.16 ) 9.11.25
	〃	助手	島田邦雄	フランス	第4回日仏磁性流体セミナーに出席、研究発表、研究打合せ等	9.11.18 ) 9.11.26
海外研修	経済学部	助教授	岩内秀徳	タイ	在タイ日系企業の現地での事業展開について、ヒアリング調査及び工場見学	9.11.1 ) 9.11.9
	教育学部	教授	山西潤一	アメリカ合衆国	ネットワークの教育利用に関する調査研究及び Comdex/FALL に参加	9.11.11 ) 9.11.20
	理学部	教授	小松美英子	アメリカ合衆国	「海産無脊椎動物幼生のアトラス」に関するフォーシャン・チア・シンポジウムに出席、調査、研究打合せ	9.11.14 ) 9.11.21

## 職 員 消 息

### 〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
教育学部	助教授 (英語教育)	内藤亮一
経済学部	助教授 (理論経済学)	堂谷昌孝
附属図書館	文部事務官 (学術情報係)	内藤綾子

# 主 要 行 事

## 本 部

- 11月4日～6日 教職員文化展  
平成9年度国立学校等幹部職員研修（部長級）  
（国立教育会館）
- 4日～7日 平成9年度厚生補導事務研修会（オリンピック総合センター）
- 5日～7日 平成9年度富山県地区国立学校等中堅職員研修（国立立山少年自然の家）
- 5日～12日 平成10年度入学者特別選抜（推薦入学，帰国子女，社会人特別選抜）願書受付
- 6日 第7回富山県大学長懇話会（富山県立大学）
- 10日～14日 平成9年度文部省施設担当係長研修（オリンピック総合センター）
- 11日 第8回教養教育委員会管理運営専門委員会
- 11日～13日 平成9年度中部地区中堅係員研修（人事院中部事務局）
- 11日～14日 平成9年度東海・北陸地区国立学校等係長研修（三重大学）
- 12日 応急危険度判定講習（東京医科歯科大学）
- 12日～13日 国立大学協会第101回総会（学士会館）
- 12日～14日 平成9年度留学生担当者研修会（オリンピック総合センター）  
平成9年度東海・北陸地区国際交流担当職員研修（名古屋大学）
- 13日 国立大学長会議懇談会（学士会館）  
第5回国際交流委員会留学生部会  
物品等の一般（指名）競争参加審査事務一括処理に関する説明会（金沢大学）
- 14日 国立大学協会第68回事務連絡会議（学士会館）  
大学等就職問題連絡会議（県民会館）  
予算事務担当者連絡会（福井医科大学）
- 18日 富山県大学学生部懇談会（富山県立大学）
- 19日 災害補償実務担当者研修会（名古屋合同庁舎）
- 21日 施設担当者連絡協議会（富山医科薬科大学）  
学内卓球大会  
同窓会会長と富山大学との懇談会（富山第一ホテル）
- 25日 富山地方法務局管内行政庁訟務事務担当者事務打合せ会（富山地方法務局）

- 11月26日 就職に関する講演会  
平成9年度北陸地区大学等厚生補導担当者研修会（国立能登青年の家）
- 27日 第2回国際交流委員会学術交流部会  
学内ボーリング大会（富山ゴールデンボール）
- 28日 第33回国立41大学庶務部長会議（名古屋工業大学）  
第9回教養教育委員会管理運営専門委員会  
富山県留学生等交流推進会議（高志会館）

## 人 文 学 部

- 11月4日 学部自己点検評価委員会  
予算委員会
- 5日 就職に関する説明会
- 14日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 17日 学部教務委員会
- 18日 学部就職指導委員会
- 19日 教授会  
教授会（人事）
- 26日 紀要委員会

## 教 育 学 部

- 11月2日 附属養護学校学習発表会
- 3日 附属中学校創立50周年記念式典（富山市芸術文化ホール）
- 5日 学部教務委員会  
学部予算委員会  
学部紀要編集委員会
- 6日 附属養護学校避難訓練
- 7日 第4回日本教育大学協会新課程連絡協議会（奈良教育大学）  
附属幼稚園保育研究会
- 10日～21日 附属養護学校及び附属幼稚園入学（園）願書受付
- 11月12日 教授会  
人事教授会
- 19日 就職ガイダンス  
学部教務委員会

- 19日 学部自己点検評価委員会  
 20日 附属小学校創校120周年記念式典・創校記念  
 音楽会（富山県民会館大ホール）  
 25日 平成9年度教員の資質向上富山県連絡協議会  
 （高志会館）  
 附属中学校・事務室避難訓練  
 26日 学部入学試験委員会  
 教育学研究科委員会小委員会  
 27日 附属幼稚園避難訓練

### 経済学部

- 11月4日 学部教務委員会  
 5日 教授会  
 12日 学部就職指導委員会  
 14日 平成9年度夜間主コース設置大学学部長会議  
 （KKR HOTEL TOKYO）  
 17日 学部教務委員会  
 19日 学部留学生委員会  
 人事教授会  
 経済学研究科委員会  
 教授会  
 21日 平成9年度秋季国立12大学経済学部・経営学  
 部学部長及び事務長会議  
 （メルパルク TOKYO）

### 理学部

- 11月5日 学部排水安全委員会  
 6日 学部図書委員会  
 10日 学部自己点検評価委員会  
 12日 理学研究科委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 13日 学部施設委員会  
 25日 学部教務委員会  
 学部就職指導委員会  
 26日 学部入試改善委員会  
 27日 学部排水安全委員会  
 学部施設委員会  
 11月28日 学部情報化対策委員会

### 工学部

- 11月5日 教官懇談会  
 7日 電子広報委員会  
 10日 入学試験検討委員会  
 博士後期課程主任会議  
 11日 電子情報通信学会講演会  
 通産省産業政策局大学等連携推進室長来学  
 12日 教授会  
 研究科委員会  
 博士後期課程委員会  
 19日 専任教授会  
 博士後期課程委員会  
 20日 温交会役員会  
 27日 溶接学会北陸支部特別講演会・研究発表会  
 外国人留学生委員会

### 地域共同研究センター

- 11月11日 通産省産業政策局大学等連携推進室長来学  
 17日～21日 先端技術研修（機器分析コース）  
 19日 企業見学と産学交流会（ワシアルミ株）  
 26日 第11回経営者・研究者交流会

### 生涯学習教育研究センター

- 11月14日 富山大学出張公開講座（城端町中央公民館）  
 20日 第1回生涯学習教育研究センター公開講座専  
 門委員会  
 25日 富山大学における大学開放の在り方を考える  
 フォーラム

### 総合情報処理センター

- 11月27日 第12回学術及び総合情報処理センター長会議  
 （熊本大学）

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけほの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話 (24)1755(代)